

日	月	火	水	木	金	土
1 7:00日曜礼拝	2	3 13:30踊り教室	4 れんげ会法座 築地本願寺 教区研修会参加	5	6	7 10:00納骨堂参拝 13:30グランドゴルフ
8 7:00日曜礼拝	9	10	11 12:30ヨガ教室	12	13	14 10:00あんのん堂参拝 (京都・大谷本廟内) 13:30グランドゴルフ
15 7:00日曜礼拝	16	17 13:30踊り教室	18 10:00 クリスタルヨガ	19	20 【講師】 福田了潤師(山口県)	21 13:30春季彼岸法要
22 7:00日曜礼拝	23	24	25 9:00ボラン寺 (寺報発送作業)	26	27	28 7 15:00壮年会法座 「了解文」を学びます
29 7:00日曜礼拝 15:00雅楽教室	30	31	<来月の予定>20日「定例法座」			

天ちゃんの一言

★築地本願寺の研修会と一緒に参加しませんか？—今月のれんげ会法座
 [期 日] 3月4日(水) [日 程] 10:00受付 11:00開会式～15:00閉会式
 [講 師] 外松 太恵子師(青少年カウンセラー)「次代を育てる」
 [参加費] 2千円・昼食込み(参加費のうち千円はれんげ会補助)

門信徒の女性ならどなたでも参加できます。初めての方もぜひご一緒しましょう。参加希望者は、お寺までお知らせ下さい。

★3月21日(春分の日)午後1時半より 春のお彼岸にお参りしましょう！

寒さが緩むと、木々が芽吹き、花が咲き、いよいよ春のお彼岸です。なんだか身も心も軽くなるような気がしますね。お出かけしやすい季節です、ぜひお誘い合わせの上お参り下さい。皆様のご参詣をお待ちしております。

★「月刊てんしん」でお仲間の声を紹介します！原稿をお待ちしています～
 初めてお参りした、グランドゴルフが楽しい、疑問があります、など何でもOKです！原稿は編集役員の若松さんまでお願いします。

門信徒会
入会案内

一緒に浄土真宗のみ教えを聴きませんか。入会は随時受付しています。

毎月、お寺のたよりと仏教冊子を配布しています。法要や法話会にお参りしましょう。年会費は一戸三千円です。



浄土真宗 本願寺派 天真寺

〒270-2251
千葉県松戸市金ヶ作106番地
TEL 047-389-0808
FAX 047-389-0809



☆「みんなの日曜礼拝」毎日曜朝7時☆
 2月8日の当番は雅楽教室の弘山先生。
 どなたでも自由にお参りいただけます！

www.tenshin.or.jp

月刊 天真
3月号

発行日 2015(平成27)年3月1日
 発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
 第456号



島根 法照山浄圓寺 創建300年
4月8日 報恩講をつとめます

法照山浄圓寺～天真寺の歴史

【所在地】島根県邑智郡美郷町志君
 【本尊】阿弥陀如来【開基】智伝
 【開創】正徳5(1715)年4月8日 創立
 明和2(1765)年 木仏寺号許可

【由来】
 本願寺教団が石山の法難(織田信長との11年にわたる戦い)や、凡夫救済の宗風による幾多の妙好人が生まれる時代背景の中、明光寺(美郷町小松地)の分院として創建されたことに始まる。

浄圓寺は創建以来、村の中心として村民たちに親しまれ護持されてきたが、農村地の過疎化のため、浄圓寺第11世正念は都市部での伝道に情熱を燃やし上京。昭和37年非法人として活動をはじめ、昭和46年千葉県松戸市に天真寺を建立した。平成元年、河原塚から金ヶ作へ寺基移転

を行い、その法要の様子がNHKで放映された(NHK特集『寺が消える—中国山地・ふるさとからの報告』)。また同年12月、本願寺第24世即如ご門主がご巡教の際に天真寺に立ち寄られ銀杏を記念植樹、記念碑が建立された。平成4年、恵照が第2世を継職し、現在住職。その後浄圓寺を吸収合併し、天真寺分院となる。

これまで年に一度浄圓寺報恩講をつとめてきましたが、今年は創建300年を迎える記念の年となり、天真寺・西方寺のメンバー総勢15名で参拝予定です。300年という長い年月、一つのお寺を存続させるためには、どんなに多くの方々のご苦勞があったことかと偲ばれます。これからもふるさと浄圓寺を大切に、お念仏繁盛のために精進して参ります。目指せ法照山400年！合掌

春季彼岸法要

【日時】
3月21日(春分の日) 午後1時半

【講師】
福田 了潤 (ふくだ・りょうじゅん) 師
本願寺派布教使・山口県専福寺副住職

どなたでもご自由にお参り下さい

拝読 「お彼岸」

彼岸とは、念仏の教えをいただいたものが、いのち終えて生まれていくさとの世界。仏となった懐かしい方々がおられる、阿弥陀如来の西方浄土のことである。

善導大師はお示しになる。

西の岸の上に人ありて喚ばひていはく

なんぢ一心正念にしてただちに來れ

われよくなんちを護らん



阿弥陀如来は、「必ず救う、われにまかせよ」と、西の岸よりよびかけておられる。如来のよび声は、南無阿弥陀仏の名号となって、今この私に届いている。如来に抱かれ、先に浄土へ生まれた方々に導かれて、彼岸へと続くただ一つの道、念仏の道を歩むのである。

『拝読 浄土真宗のみ教え』

■バス無料送迎便■お気軽にご利用下さい!

- 12:00 JR北小金駅南口 SATY前五大ホーム
 - 12:15 マツエツ小金原店駐車場
 - 12:20 栗ヶ沢公園前ファミリーマート
 - 12:40 天真寺
 - 13:00 新京成線八柱駅南口 メガネスーパー前
 - 13:10 新京成線常盤平北口 2番バス停
 - 13:20 天真寺
- ※法要後、帰りの便もあります

お仲間の声

●第7期北ブロック 連続研修会を受講して

この度、北ブロック連続研修会(連研)を受講させていただきました。天真寺からは私を含め、4人が参加しました。研修は2ヶ月に1度開催され、2年間で全12回、天真寺を含めた6つのお寺を会場として行われました。

研修は集合後、全体でのお勤めから始まります。その後各回のテーマに沿った問題提起がご住職からあり、全体講義もしくは班別に分かれての議論を行います。



第1~3回目の研修は仏教や浄土真宗についての全体講義がありました。第4回目以降は、班別に分かれて自分の「考え」や「思い」を1時間程度話し合いました。テーマは全員が納得できる「答え」が得られるものや、立場や経験などから多様な考え方ができ解答が存在しないものがありました。また、話し合いの後の班ごとの発表では斬新な切り口でテーマをまとめる班もあり大変刺激になりました。

全員が同じテーマでそれぞれの意見を出し合えたことでその人柄を知ることができ、長いお付き合いができる仲間ができたと思っています。

(門信徒 弟子丸俊吾さん)

第7期の皆様、2年間お疲れ様でした!3月に築地本願寺で修了式が行われます。第8期に連研を受講して下さる方も募集しています。ぜひ他のお寺の方々と、一緒に学んでみませんか。興味のある方は、お寺までお気軽にお尋ね下さい。

ヨガ教室よりお知らせ

今月まで無料でレッスンをを行います!(通常は月2回2千円)呼吸とともに実践するヨガ。お誘い合わせの上、お越し下さい。
3月11・21日(水)12時半~ 天真寺2F和室
(講師 大枝さん)

漢字ばかりで難しく...、お経に書かれていることなんてつまらなそう...、と思ってる方。そんなことはありません!親鸞聖人が生涯をかけて書かれたお言葉の一つ一つには、人生の教えがたくさん詰まっています。まさに今を生きる私たちに語りかける生きた言葉なのです。

浄土真宗のご門徒なら、通夜葬儀で、法事の席で、「きみよ、むりよ、じゆによらい」と称えるお経を聞いたことがあるでしょう。これは「正信偈」とよばれるお経で、宗祖・親鸞聖人が書かれたものです。

お正信偈
を読む
4月25日スタート



ぜひ一緒に親鸞聖人のお心を読み、お正信偈を読んでみませんか。初めての方も、ベテランの方も、必ず学びがあるはずですよ。ゆっくり、楽しみながら進めますので、心配はいりません。事前申込みや会費は必要ありませんので、当日お寺へお越し下さい。どなたでも自由に参加できます。春から新しい人生の一步を踏み出しませんか!

壮年会法座
お正信偈を読む
【第1回目】
4月25日(土)
午後3時より

【講師】
名種 木乃実
天真寺衆徒、京都在住。中央仏教学院通信教育修了し、現在通信教育の京都支部会長。



□□毎日のおつとめ 家庭編□□ 天真寺ホームページ「勤行情報」参考にして下さい

Q.今年ホームページの「勤行情報」のバージョンアップを目指します。→副住職の目標(^_^)
まずは第一弾「毎日家庭ではどんなお経をおつとめすればいいの?」という疑問に答えます。

家庭では、寺院に準じておつとめすることがのぞましいです。「讚仏偈」「重誓偈」「十二礼」などでもよいと思います。その他、お経を歌で味わう讚仏歌「しんじんのうた」「ちかいのうた」「らいはいのうた」「さんだんのうた」があります。これらは、昭和23年蓮如上人450回遠忌法要にて訳されました。

晨朝勤行(じんじょうごんぎょう) 「正信偈」(草譜)六首引きと「御文章」をおつとめします
日没勤行(にちもつごんぎょう) 「正信偈」(草譜)短念仏・回向をおつとめします



年 回 表 平成27(2015)年

- 1 周忌 平成26(2014)年
- 3 回忌 平成25(2013)年
- 7 回忌 平成21(2009)年
- 13回忌 平成15(2003)年
- 17回忌 平成11(1999)年
- 23回忌 平成 5(1993)年
- 25 回忌 平成 3(1991)年
- 27回忌 昭和64年
- 平成元年(1989)年
- 33 回忌 昭和58(1983)年
- 50 回忌 昭和41(1966)年
- 100回忌 大正 5(1916)年

ご法事はお寺か自宅で、ご命日前後のご家族が都合のいい日におつとめ下さい。日の善悪は一切問いません。お寺への日時の相談は、早めにお問い合わせ致します。ご法事は亡き方を偲び、今を生きる私たちが仏法に親しむ大切なご縁です。